

樹林観察園植栽経過 及び管理状況

吉岡敏彦

樹林観察園は、日本の最も代表的な植相を再現することを目的として、昭和59年度より植栽を行っている。平成元年度～4年度における植栽経過と管理状況を報告する。

植栽経過は別表のとおりである。今後は、各区域とも将来を考え、高木層の植栽については、ほぼ完了と見なし、中・低木層の植栽に力を入れていきたい。これらが育ったきたら草本類も徐々に植える計画である。

日常管理面で留意していることは以下のとおりである。

- ① 暖地であるためか、せん孔性害虫による被害が多い。見つけ次第、殺虫剤を侵入穴から注入する。
- ② チップ屑をマルチングし乾燥防止に努める。
- ③ 徒長や病害虫の発生を防ぐため、多肥を控える。
- ④ 支柱を早めに撤去し、美観を損なわないようにする。

初期に植栽した樹種が、かなり成長してきており、なかには他の植物の成長を妨げたり、競合して樹形をくずしているものが出てきた。今後は、早めに移植や間伐等を行う必要がある。

表. 樹林観察園 植栽経過

区 分		元 年 度	2	3	4	
照 葉 樹 林	シイ	高木層	タムシバ コバシノモチ ヒメユズリハ ウバメガシ タラヨウ ホソバタブ	シイモチ	オガタマノキ サンゴジュ (ホルトノキ)	ヤマモガシ タニワタリノキ
		低木層	シャヤンボ カナメモチ		イヌワビ ツゲ (ツルグミ) (ヤマビワ)	イズセンリョウ タイミンタチバナ
	カシ	高木層	アカガシ			イヌガシ
		低木層	ヒイラギ シキミ		ムラサキシキブ (ハイノキ)	シロバイ クロバイ ハイノキ
夏 緑 地	山 性	高木層	ミズナラ イヌブナ コハウチワカエデ ブナ	ミズナラ イヌブナ ブナ	ミズナラ イヌブナ ブナ カシワ オオイタヤメイゲツ ヨグソリネバリ (ネコノチチ) (シラキ) (ホオノキ) (クマシテ) (イヌシテ) (アカシテ)	ヒコサンヒメシャラ
		低木層	クロモジ	サワフタギ ホツツジ シロモジ	コマユミ オトコヨウゾメ (フウリンウメモドキ) (オオバクロモジ) (クロタキカズラ) (ムラサキマユミ) (ヤマグルマ) (ツリバナ) (コクサキ) (タロモジ) (ヤマウダイスカグラ)	アクシバ タンナサワフタギ サワフタギ ヤマトレンギョウ
	渓 谷 性	高木層	ウワミズザクラ	アサガラ オヒョウ ヤチダモ	(オヒョウ) (ウリノキ)	シオジ
針 葉 樹 林	—	高木層	ハシドイ	アブラチャン ダンコウバイ	ヤマアジサイ ハナイカダ タニウツギ (コマユミ) (タカノツメ) (アブラチャン) (コバノガマズミ)	
		低木層	ヒメコマツ オシラビン シラビン ウラジロモミ	クロベ		

() 内は移植木